

2018年1月10日

会員各位

一般社団法人 触媒学会
会長 江口浩一

2018年度触媒学会会長候補者信任のための会員投票について(お願い)

正会員（シニア会員、S会員を含む）による2018年度触媒学会会長候補者の信任投票を実施します。本投票により信任されますと、2018年度会長候補者は会長最終候補者となります。なお、会長最終候補者は5月開催予定の定時社員総会にて理事として選任後、引き続き開催される理事会にて2018年度会長に選任されます。

投票は原則としてウェブ投票により行いますが、ご希望により郵便での投票も受け付けます。

2017年11月11日開催の役員候補者選考委員会および12月2日開催の理事会において、2018年度会長候補者についての審議が行われ、その結果、福岡淳氏（北海道大学）が候補者として選出されました。

つきましては、候補者の「経歴と会長としての抱負」（別紙および本会ウェブサイト記載）をご覧のうえ、下記によりご投票くださいますようお願いいたします。

記

1. ウェブ投票による方法

ウェブ投票を行うには、会員マイページ (<https://www.shokubai.org/general/kaiin/mypage.html>) の会長候補者信任投票のバナーからログインし、手順に従って投票をお願いします。なお、このバナーは2018年2月1日(木)午前10時に公開予定です。

■会員ID(会員番号)およびパスワードの確認

会長候補者信任投票のバナーからログインする際に、会員IDとパスワードが必要になります（会員マイページ・触媒 OnTheWeb の会員ID、パスワードと同じです）。パスワードをお忘れの際はこちら (<https://service.gakkai.ne.jp/solti-asp-member/auth/password>) からご確認ください。

次の場合は事務局（catsj@pb3.so-net.ne.jp）にご連絡ください。

- ・会員ID（会員番号）を忘れた場合。
- ・ご登録されているメールアドレスを変更された場合、あるいは未登録で、「パスワードをお忘れの場合（再発行）」ボタンを利用できない場合。

■投票期間：2018年2月1日(木)午前10時から2月28日(水)正午

投票は1回限りです。提供された情報は、会長候補者の信任投票業務以外の用途に使用することはありません。

2. 郵送による投票方法

郵送による投票を希望される場合には、事前に投票用紙の送付を請求していただく必要があります。

■投票用紙の請求方法

会員番号、氏名および郵送先住所を明記の上、Fax または郵便でご請求ください。電話での申し込みには応じかねますので、予めご了承ください。

請求先： 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 3 階
一般社団法人 触媒学会 事務局宛て FAX : 03-3291-8225

■投票用紙の請求期間：2018 年 1 月 10 日(水)から 2 月 9 日(金)

■郵送による投票期間：2018 年 2 月 1 日(木)午前 10 時から 2 月 28 日(水)正午(必着)

投票用紙の送付先： 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 3 階
一般社団法人 触媒学会 選挙管理委員会 宛て

以上

触媒学会会長候補者「経歴と会長としての抱負」

1) 候補者氏名

福岡 淳 (ふくおかあつし)



2) 生年月日

1958年7月12日

3) 略歴

1982年 東京大学工学部合成化学科 卒業

1985年 東京大学大学院工学系研究科博士課程 中退

1986年 北海道大学触媒研究所 助手

1991年 東京農工大学工学部 講師

1995年 東京農工大学工学部 助教授

1997年 北海道大学触媒化学研究センター 助教授

2007年 北海道大学触媒化学研究センター 教授

2015年 北海道大学触媒科学研究所 教授 (現職)

この間、2010～2014年 北海道大学触媒化学研究センター長、

2014年～現在 北海道大学総長補佐 (経営戦略室)

4) 所属・職位

北海道大学触媒科学研究所 教授

5) 専門分野

触媒化学、バイオマス変換、グリーン化学

6) 受賞歴

1994年 触媒学会 奨励賞

2015年 触媒学会 学会賞 (学術部門)

2015年 北海道大学 研究総長賞・優秀賞

2015年 グリーン・サステイナブル・ケミストリー (GSC) 賞・文部科学大臣賞

2017年 北海道大学 研究総長賞・優秀賞

7) 会長としての抱負 (350字程度)

触媒は化学反応を促進する物質として、資源・エネルギー変換および環境浄化などの分野において重要な役割を果たしています。近年、触媒の応用範囲は広がりをみせ、触媒の学術的な発展と技術的な展開に対する期待が高くなっています。本会の目的は、このように成長を続ける触媒の科学・技術に関する最新情報を交換する場として産官学の会員の便宜を図ることです。そこで、まずは討論会や会誌発行などの活動をより充実するべく努めます。私としては、特に若手育成と国際交流に重点を置きたいと考えています。例えば、討論会での若手の積極的な登壇を促し切磋琢磨の場としての活用を奨励します。国際交流としては、2018年夏の TOCAT8 を成功させ、国際触媒会議 (ICC) の日本誘致に向けてアジア・欧米諸国への働きかけを開始します。2018年は触媒学会創立60周年にあたり、記念行事として式典・祝賀会、触媒誌記念号の出版などが行われる予定です。これらの活動についても全力で取り組む所存です。